

「福島第一原子力発電所の廃炉のための技術戦略プラン2016」
に関する県議会議長コメント

本日、「福島第一原子力発電所の廃炉のための技術戦略プラン2016」に関して、原子力損害賠償・廃炉等支援機構から県に対して、「石棺方式」は検討しておらず、不適切な表現を修正するという説明がなされた。

燃料デブリの取り出し、県外での処分は県民の総意である。そもそも「石棺方式」への言及は、確実な廃炉を願う県民の気持ちを踏みにじるものであり、到底容認できるものではない。

これを機に、燃料デブリの安全かつ確実な取り出しと県外における処分を国が明確に示すとともに、関係機関が一体となって着実に廃炉の取組を進めるべきである。

平成28年7月15日

福島県議会議長 杉山 純一